

大阪工業大学大学院 ディプロマ・ポリシーと修士設計審査項目・基準との関連

大学院 ロボティクス&デザイン工学研究科 ロボティクス&デザイン工学専攻

博士前期課程

《 DPを達成するために特に関連度が高い項目に○ 》

ディプロマ・ポリシー		学位論文審査項目					
		項目1)	項目2)	項目3)	項目4)	項目5)	項目6)
DP	(1) 人々の豊かな暮らしを実現する、革新性のある工学的な知識・技術の活用を創出するイノベーションリーダーとしての素地を身につけ行動できる。	○	○	○	○		
	(2) 高度な表現方法・技術を用いたコミュニケーションにより、他者の理解・共感を導き、社会に訴求する能力と姿勢を身につけイノベーションリーダーとしての活動に活かすことができる。			○	○		

修士設計審査項目・基準

審査項目	審査基準(満たすべき水準)
項目1) 設計テーマの妥当性	研究目的が明確で学術的・社会的意義を有すること。
項目2) 研究方法の妥当性	目的達成のため、適切な研究方法を実践していること。
項目3) 独創性(新規性)	テーマの設定、研究方法、設計内容等において、未知の事象・事物の発見や新たな見解を示していること。
項目4) 有用性	学術的または、社会的に有用な提案となっていること。
項目5) 信頼性	既往の研究や作品事例に対して提案の位置づけが明らかにされていること。
項目6) 完成度	設計意図にもとづいて設計内容が的確に表現されていること。